

大館市の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

| 区 分 | 住民基本台帳人口 (18年度末) | 歳 出 額 A | 実 質 収 支 | 人 件 費 B | 人 件 費 率 B/A | (参考) 17年度の人件費率 |
|------|---------------------|------------------|---------------|-----------------|----------------|-------------------|
| 18年度 | 人 83,118 | 千円 30,972,939 | 千円 940,827 | 千円 7,021,602 | % 22.7 | % 21.9 |

(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

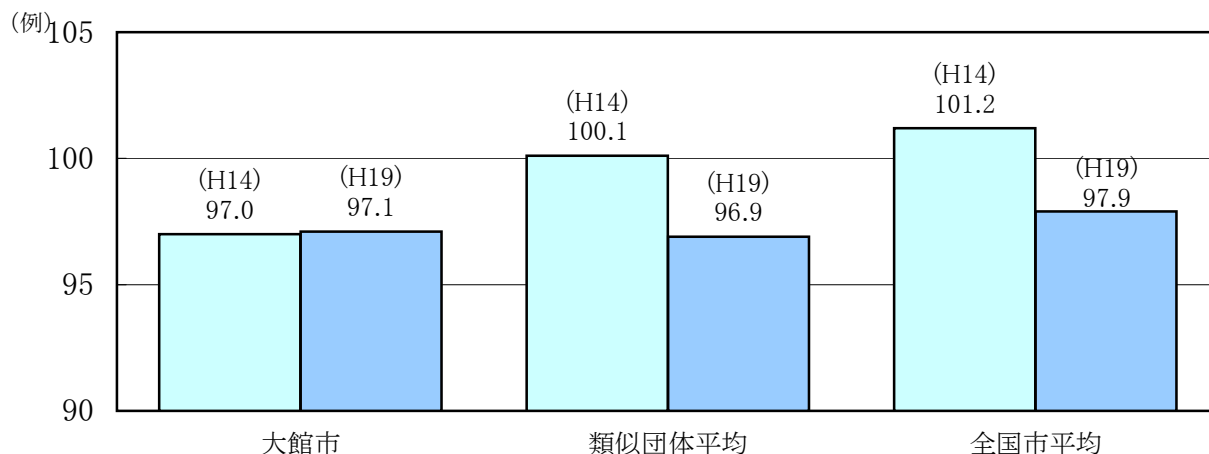
| 区 分 | 職員数 A | 給 与 費 | | | | 一人当たり 給与費 B/A | (参考)類似団体平均 一人当たり給与費 |
|------|----------|-----------------|---------------|-----------------|-----------------|------------------|------------------------|
| | | 給 料 | 職員手当 | 期末・勤勉手当 | 計 B | | |
| 18年度 | 人 794 | 千円 3,255,459 | 千円 483,765 | 千円 1,335,846 | 千円 5,075,070 | 千円 6,392 | 千円 6,333 |

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。
2 職員数は、18年4月1日現在の人数である。

(3) 特記事項

平成17年6月20日 北秋田郡比内町、北秋田郡田代町と合併

(4) ラスパイレス指数の状況（各年4月1日現在）



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数である。
2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（19年4月1日現在）

①一般行政職

| 区 分 | 平均年齢 | 平均給料月額 | 平均給与月額 | 平均給与月額 (国ベース) |
|------|---------|-----------|-----------|------------------|
| 大館市 | 43.10 歳 | 345,133 円 | 392,551 円 | 383,174 円 |
| 秋田県 | 43.6 歳 | 354,147 円 | 436,429 円 | 396,019 円 |
| 国 | 40.7 歳 | 325,724 円 | — | 383,541 円 |
| 類似団体 | 43.8 歳 | 343,951 円 | 408,150 円 | 376,934 円 |

②技能労務職

| 区 分 | 公 務 員 | | | | | 民 間 | | | 参 考 |
|--------|---------|---------|-----------|---------------|------------------|-----------------|--------|---------------|------|
| | 平均年齢 | 職員数 | 平均給料月額 | 平均給与月額 (A) | 平均給与月額 (国ベース) | 対応する民間 の類似職種 | 平均年齢 | 平均給与月額 (B) | A/B |
| 大館市 | 49.0 歳 | 79 人 | 352,200 円 | 368,883 円 | 376,698 円 | — | — | — | — |
| うち校務主事 | 47.6 歳 | 38 人 | 345,800 円 | 362,555 円 | 373,237 円 | 用務員 | 53.9 歳 | 227,200 円 | 1.60 |
| うち調理技師 | 47.11 歳 | 24 人 | 339,900 円 | 345,975 円 | 353,253 円 | 調理士 | 44.1 歳 | 213,000 円 | 1.62 |
| うち運転技師 | 53.6 歳 | 14 人 | 393,800 円 | 425,000 円 | 430,028 円 | 自家用乗用自動車 運転者 | 53.2 歳 | 235,000 円 | 1.81 |
| 秋田県 | 47.9 歳 | 575 人 | 338,849 円 | 393,549 円 | 371,181 円 | — | — | — | — |
| 国 | 48.8 歳 | 5,193 人 | 287,094 円 | — | 320,514 円 | — | — | — | — |
| 類似団体 | 48.0 歳 | 63 人 | 313,225 円 | 346,246 円 | 330,862 円 | — | — | — | — |

| 区 分 | 参 考 | | |
|--------|---------------|-------------|------|
| | 年収ベース(試算値)の比較 | | |
| | 公務員 (C) | 民間 (D) | C/D |
| 大館市 | 6,099,396 円 | — 円 | |
| うち校務主事 | 6,049,360 円 | 3,284,300 円 | 1.84 |
| うち調理技師 | 5,778,000 円 | 2,965,500 円 | 1.95 |
| うち運転技師 | 7,089,100 円 | 3,350,900 円 | 2.12 |

※民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用している。(平成16～18年の3ヶ年平均)

※技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。

※年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を12倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値である。

③小・中学校(幼稚園)教育職

| 区 分 | 平均年齢 | 平均給料月額 | 平均給与月額 |
|------|---------|-----------|-----------|
| 大館市 | 48.4 歳 | 364,300 円 | 364,300 円 |
| 秋田県 | 43.10 歳 | 387,109 円 | 418,720 円 |
| 類似団体 | 44.4 歳 | 348,004 円 | 372,712 円 |

(注) 1 「平均給料月額」とは、19年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。

また、「平均給与月額(国ベース)」は、国家公務員の平均給与月額には時間外勤務手当、特殊勤務手当等の手当が含まれていないことから、比較のため国家公務員と同じベースで再計算したものである。

(2) 職員の初任給の状況(19年4月1日現在)

| 区 分 | | 大館市 | 秋田県 | 国 |
|-------|-----|-----------|-----------|-----------|
| 一般行政職 | 大学卒 | 170,200 円 | 170,200 円 | 170,200 円 |
| | 高校卒 | 138,400 円 | 138,400 円 | 138,400 円 |
| 技能労務職 | 高校卒 | 132,900 円 | 135,600 円 | 135,600 円 |
| | 中学卒 | — | — | 127,700 円 |

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額状況（19年4月1日現在）

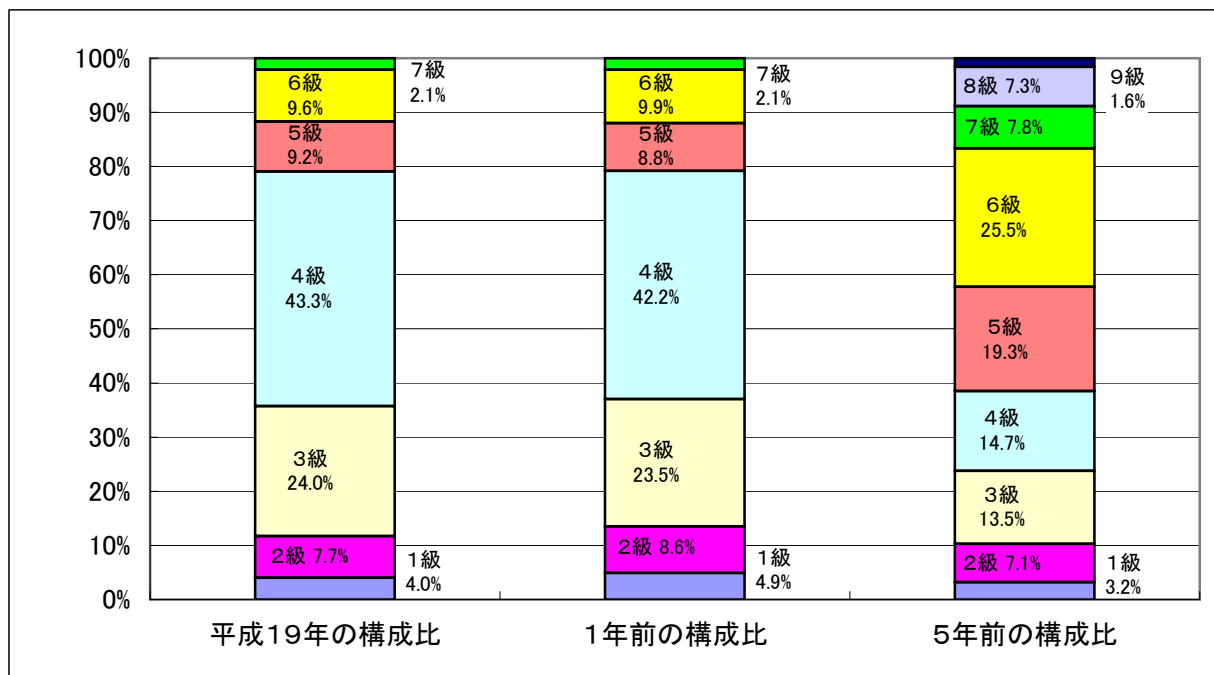
| 区 分 | | 経験年数10年 | 経験年数15年 | 経験年数20年 |
|-------|-----|-----------|-----------|-----------|
| 一般行政職 | 大学卒 | 250,600 円 | 288,900 円 | 335,400 円 |
| | 高校卒 | 203,400 円 | 250,600 円 | 288,900 円 |
| 技能労務職 | 高校卒 | 195,200 円 | 240,500 円 | 277,300 円 |
| | 中学卒 | - 円 | - 円 | - 円 |

3 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数の状況（19年4月1日現在）

| 区 分 | 標準的な職務内容 | 職員数 | 構成比 |
|-----|-----------|-------|--------|
| 1 級 | 主事、技師 | 21 人 | 4.0 % |
| 2 級 | 主任主事、主任技師 | 40 人 | 7.7 % |
| 3 級 | 主査、主任 | 125 人 | 24.0 % |
| 4 級 | 係長、主査 | 225 人 | 43.3 % |
| 5 級 | 課長補佐 | 48 人 | 9.2 % |
| 6 級 | 課長、主幹 | 50 人 | 9.6 % |
| 7 級 | 部長 | 11 人 | 2.1 % |

- (注) 1 大館市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。
 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(注) 平成18年に9級制から7級制に変更している。（旧給料表の1級及び2級並びに4級及び5級をそれぞれ統合）

(2) 昇給への勤務成績の反映状況

現在は、全職員が標準の区分により昇給し、勤務成績に応じた昇給を実施していない。

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

| 大館市 | | 秋田県 | | 国 | |
|---|--|--|--|--|--|
| 1人当たり平均支給額(18年度) 1,639 千円 | | 1人当たり平均支給額(18年度) 1,848 千円 | | — | |
| (18年度支給割合) 期末手当 3.0 月分 (—)月分 勤勉手当 1.45 月分 (—)月分 | | (18年度支給割合) 期末手当 3.0 月分 (1.6)月分 勤勉手当 1.45 月分 (0.75)月分 | | (18年度支給割合) 期末手当 3.0 月分 (1.6)月分 勤勉手当 1.45 月分 (0.75)月分 | |
| (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20% | | (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 10～25% | | (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 10～25% | |

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

【参考】勤勉手当への勤務実績の反映状況(一般行政職)

現在は、全職員が標準の成績率を適用し、勤務成績に応じた成績率の適用をしていない。

(2) 退職手当(19年4月1日現在)

| 大館市 | | | 国 | | |
|------------|---------------------------|----------|----------|---------------------------|----------|
| (支給率) | 自己都合 | 勸奨・定年 | (支給率) | 自己都合 | 勸奨・定年 |
| 勤続20年 | 23.50 月分 | 30.55 月分 | 勤続20年 | 23.50 月分 | 30.55 月分 |
| 勤続25年 | 33.50 月分 | 41.34 月分 | 勤続25年 | 33.50 月分 | 41.34 月分 |
| 勤続35年 | 47.50 月分 | 59.28 月分 | 勤続35年 | 47.50 月分 | 59.28 月分 |
| 最高限度額 | 59.28 月分 | 59.28 月分 | 最高限度額 | 59.28 月分 | 59.28 月分 |
| その他の加算措置 | 定年前早期退職特例措置 (2%～20%加算) | | その他の加算措置 | 定年前早期退職特例措置 (2%～20%加算) | |
| 1人当たり平均支給額 | 24,443 千円 | | | | |

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、18年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 地域手当

(19年4月1日現在)

| | | | |
|-------------------------|------|-----------|-----------|
| 支給実績(18年度決算) | | 52,308 千円 | |
| 支給職員1人当たり平均支給年額(18年度決算) | | 968,667 円 | |
| 支給対象地域 | 支給率 | 支給対象職員数 | 国の制度(支給率) |
| 医師及び歯科医師の特例 | 15 % | 54 人 | 12 % |

(4) 特殊勤務手当（19年4月1日現在）

| 支給実績(18年度決算) | 418,234 千円 | | |
|-------------------------|------------------------|--|--|
| 支給職員1人当たり平均支給年額(18年度決算) | 631,773 円 | | |
| 職員全体に占める手当支給職員の割合(18年度) | 50.3 % | | |
| 手当の種類(手当数) | 22 | | |
| 手当の名称 | 主な支給対象職員 | 主な支給対象業務 | 左記職員に対する支給単価 |
| 賦課徴収手当 | 税務課職員 収納課職員 | (1) 市税の賦課、徴収に関する業務 (2) 市税以外の収入の徴収に関する業務 (3) 滞納処分に関する業務 | (1) 月額6,200円 (2) 日額200～400円 (3) 1件200～450円 |
| 社会福祉手当 | 福祉事務所に勤務する職員のうち現業を行う職員 | 生活保護法等に基づく家庭訪問、面接等の業務 | 月額6,200円 |
| 行旅病人、死亡人等取扱手当 | 福祉課職員 | 行旅病人、行旅死亡人の取扱業務 | 行旅病人 1件1,000円 行旅死亡人 1件2,900円 |
| 現場作業手当 | 管財課職員 土木課職員他 | 交通の遮断されていない通行量の比較的多い道路における測量業務等 | 日額200～550円 |
| 特殊自動車運転手当 | 土木課職員 消防職員 | 特殊自動車の運転業務 | 日額200～750円 |
| 資格手当 | 環境センター職員、 病院職員 | (1) 電気事業法の規定による主任技術者に選任された職員 (2) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律の規定による技術管理者に選任された職員 (3) 労働安全衛生法の規定による産業医に選任された職員 | (1) 月額1,000円 (2) 月額1,000円 (3) 月額5,000円 |
| 用地交渉手当 | 管財課職員 | 土地の取得等に関し現地において地権者と面接して行う交渉業務のうち特に困難なもの | 日額450円 |
| 夜間業務手当 | 消防職員、病院職員 (看護師) | 正規の勤務時間として深夜(午後10時から翌日午前5時まで)において行う業務 | 勤務1回320～3,300円 |
| 看護業務等危険手当 | 病院職員 | (1) 神経精神科病棟又は神経精神科外来棟に勤務することを本務としない職員が当該病棟内又は当該外来棟内において患者に直接接する業務 (2) 感染症病室又は結核病室において患者の看護又は病原菌の付着した物件の処理業務 | (1) 日額300円 (2) 日額150円 |
| 急患診療等業務手当 | 病院職員 | (1) 勤務時間外における急病者の診療業務又はその診療に付帯する業務 (2) 1月1日又は12月31日における急病者の診療業務又はその診療に付帯する業務 | (1) 1回1,100～3,000円 (2) 日額5,000～7,000円 |
| 死体処置手当 | 病院職員(看護師、 准看護師) | 患者の死体を所定の方法により処置する業務 | 1体2,900円 |
| 死体解剖補助作業手当 | 病院職員(医師以外) | 死体解剖補助作業業務 | 1体4,500円 |
| 早朝出勤手当 | 病院職員のうち栄養科に勤務する職員 | 正規の勤務時間を午前5時として割り振られ業務に従事した場合 | 勤務1回1,000円 |

| 手当の名称 | 主な支給対象職員 | 主な支給対象業務 | 左記職員に対する支給単価 |
|------------|----------------------|--|--|
| 救急診療待機手当 | 病院職員 | (1) 医師及び看護師長が救急患者等の診療のため、勤務時間外に病院内に待機したとき (2) 医師、放射線技師、臨床検査技師、看護師及び准看護師が救急患者等の診療のため、勤務時間外に自宅に待機したとき | (1) 1回8,400～19,200円 (2) 1回1,200～3,500円 |
| 研究手当 | 病院職員(医師、薬剤師) | 研究業務に従事 | 医師 295,000～642,000円 薬剤師 給料月額100分の6 |
| 診療指導手当 | 病院職員(管理職手当の支給を受ける医師) | 一般医師、研修医、看護師への診療指導 | 院長 給料月額100分の15 副院長 給料月額100分の10 診療局長、副診療局長、部長、副部長及び医長 給料月額100分の5 |
| 時間外分べん介助手当 | 病院職員(医師) | 正規の勤務時間外に分べん介助に従事したとき | 1回15,000円 |
| 放射線作業手当 | 病院職員(診療放射線技師等) | エックス線その他の放射線を人体に対して照射する業務 | 日額230円 |
| 清掃手当 | 環境センター職員 | (1) 管理係に勤務する職員 (2) 業務係に勤務する職員 (3) 業務係に勤務する職員で、し尿かき出し等の業務に従事した場合 | (1) 月額3,600円 (2) 月額8,200円 (3) 日額500～2,000円 |
| 出動手当 | 消防職員 | 水火災その他の災害、救急又は救助の業務 | 1回150円 |
| 有害薬剤等取扱手当 | 環境センター職員 | 塩素ボンベの取付け、苛性ソーダの注入等の業務 | 1回400円 |
| 防疫等作業手当 | 農林課職員 | 家畜伝染病の病原体を有し、又は有する疑いのある家畜に対する防疫作業業務 | 日額290円 |

(5) 時間外勤務手当

| | |
|-----------------------|------------|
| 支給実績（18年度決算） | 358,546 千円 |
| 職員1人当たり平均支給年額（18年度決算） | 452 千円 |
| 支給実績（17年度決算） | 354,532 千円 |
| 職員1人当たり平均支給年額（17年度決算） | 448 千円 |

(6) その他の手当（19年4月1日現在）

| 手当名 | 内容及び支給単価 | | 国の制度との異同 | 国の制度と異なる内容 | 支給実績 (18年度決算) | 支給職員1人当たり 平均支給年額 (18年度決算) | |
|-------------------------|--|-------------------|----------|----------------------|------------------|---------------------------------|---------|
| 扶養手当 | 配偶者 | | 同じ | — | 124,119 千円 | 217,371 円 | |
| | 配偶者 目 | 1 扶養親族である配偶者がある場合 | | | | | 13,000円 |
| | | 扶養親族でない配偶者がある場合 | | | | | 6,000円 |
| | | 配偶者がいない場合 | | | | | 6,500円 |
| | 以外 | 2人目以降 | | | | | 6,000円 |
| 満16歳以上22歳までの子1人についての加算額 | | 5,000円 | | | | | |
| 住居手当 | 借家(借間)の場合の支給限度額 | | 同じ | — | 38,591 千円 | 190,103 円 | |
| | 持家(購入又は新築後5年間) | | | | | | 2,500円 |
| 通勤手当 | バス、電車などの交通機関利用の場合の限度額 | | 同じ | — | 51,564 千円 | 56,539 円 | |
| | 自家用車などの交通用具利用2,200～24,500円 | | | | | | 異なる |
| 単身赴任手当 | 基本額23,000円。距離に応じ6,000～45,000円加算 | | 同じ | — | 0 千円 | 0 円 | |
| 休日勤務手当 | 祝日法による休日及び年末年始の休日に勤務した職員に対して、その勤務1時間につき1時間当たりの給与額の135/100を支給 | | 同じ | — | 35,834 千円 | 308,913 円 | |
| 夜間勤務手当 | 正規の勤務時間として午後10時から翌日の午前5時までの間に勤務する職員にその勤務1時間につき1時間当たりの給与額の25/100を支給 | | 同じ | — | 41,949 千円 | 133,171 円 | |
| 管理職手当 | 管理又は監督の地位にある職員に36,100～123,500円を支給 ※平成20年3月まで5%を減じた額を支給 | | 異なる | (国)給料月額 の8～25% | 132,281 千円 | 668,085 円 | |
| 管理職員特別勤務手当 | 管理又は監督の地位にある職員が臨時又は緊急の必要等により週休日、休日、年末年始の休日等に勤務した場合に6,000～15,000円の金額を支給 | | 異なる | (国) 4,000～18,000円 | 231 千円 | 115,500 円 | |
| 宿日直手当 | 宿日直勤務又は日直勤務を命ぜられた職員に対してその勤務1回につき4,200円を支給 (勤務時間が5時間未満の場合は、2,100円) | | 同じ | — | 7,539 千円 | 115,984 円 | |
| 寒冷地手当 | 11月から翌年3月までに在職する職員に対し、月額7,360～17,800円を支給※経過措置あり | | 同じ | — | 84,093 千円 | 64,537 円 | |

5 特別職の報酬等の状況（19年4月1日現在）

| 区 分 | | 給 料 | 月 額 等 | |
|------------------|-----------------------|-----------------------------|--|--------|
| 給 料 | 市 長 | 922,000 円 (— 円) | (参考)類似団体における最高/最低額 1,089,000 円/ 616,000 円 | |
| | 副 市 長 | 731,000 円 (— 円) | 895,000 円/ 550,800 円 | |
| | 収 入 役 | 676,000 円 (— 円) | 810,000 円/ 536,400 円 | |
| 報 酬 | 議 長 | 428,000 円 (— 円) | 690,000 円/ 269,000 円 | |
| | 副 議 長 | 389,000 円 (— 円) | 620,000 円/ 228,000 円 | |
| | 議 員 | 371,000 円 | 560,000 円/ 213,000 円 | |
| | | 旧比内町議員 234,000 円 | | |
| | | 旧田代町議員 239,000 円 (— 円) | | |
| 期 末 手 当 | 市 長 副 市 長 収 入 役 | (18年度支給割合) 3.35 月分 | | |
| | 議 長 副 議 長 議 員 | (18年度支給割合) 3.35 月分 | | |
| 退 職 手 当 | 市 長 | (算定方式) | (1期の手当額) | (支給時期) |
| | 副 市 長 | 922,000円×在職月数×0.47 | 2,080万円 | 任期毎 |
| | 収 入 役 | 731,000円×在職月数×0.28 | 982万円 | 任期毎 |
| | | 676,000円×在職月数×0.21 | 681万円 | 任期毎 |
| | 備 考 | | | |

- (注) 1 給料及び報酬の()内は、減額措置を行う前の金額である。
 2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

6 職員数の状況

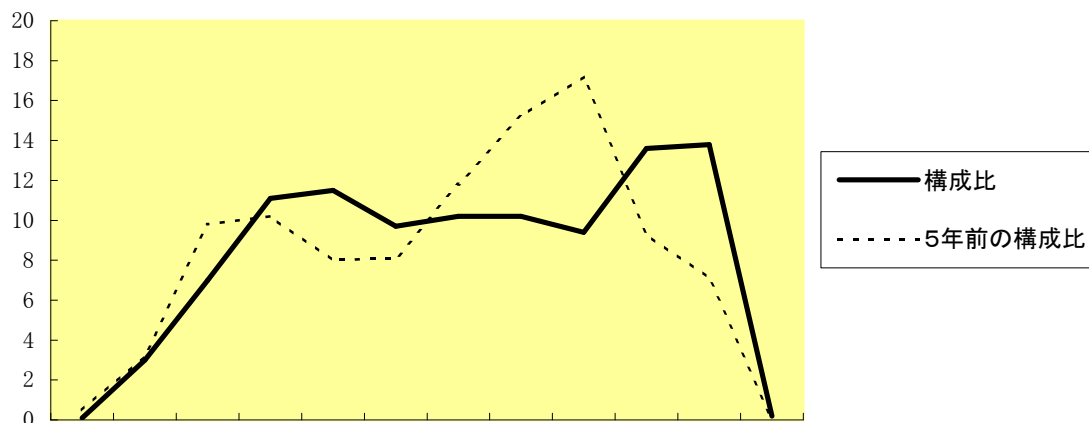
(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

| 区 分 部 門 | | 職 員 数 | | 対前年 増減数 | 主 な 増 減 理 由 |
|---------------------------|-------|--------------------|--------------------|---------------|---|
| | | 平成18年 | 平成19年 | | |
| 普通会計部門 | 議 会 | 9 | 7 | △ 2 | 議員数減に伴う減員 |
| | 総 務 | 166 | 156 | △ 10 | 業務量見直しによる減員 |
| | 税 務 | 43 | 44 | 1 | 収納業務強化のため増員 |
| | 民 生 | 132 | 129 | △ 3 | 業務量見直しによる減員 |
| | 衛 生 | 49 | 49 | 0 | |
| | 農林水産 | 38 | 38 | 0 | |
| 一般行政部門 | 商 工 | 25 | 24 | △ 1 | 事業移管に伴う減員 |
| | 土 木 | 64 | 64 | 0 | |
| 計 | | 526 | 511 | △ 15 | <参考> 人口1万人当たり職員数 61.48 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 61.85 人) |
| 教育部門 | | 143 | 136 | △ 7 | 花岡幼稚園閉園、施設の職員配置見直しによる減員 |
| 消防部門 | | 126 | 129 | 3 | 分署における救急業務開始に伴う増員 |
| 小 計 | | 795 | 776 | △ 19 | <参考> 人口1万人当たり職員数 93.36 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 84.04 人) |
| 公営 企会 業計 等部 門 | 病 院 | 496 | 500 | 4 | 増改築に伴う看護師増員 |
| | 水 道 | 39 | 36 | △ 3 | 浄水場業務の委託に伴う減員 |
| | 下 水 道 | 15 | 15 | 0 | |
| | そ の 他 | 40 | 40 | 0 | |
| 小 計 | | 590 | 591 | 1 | |
| 合 計 | | 1,385 [1,514] | 1,367 [1,517] | △ 18 [3] | <参考> 人口1万人当たり職員数 164.46 人 |

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。
2 []内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況 (19年4月1日現在)



| 区 分 | 20歳未満 | 20歳～23歳 | 24歳～27歳 | 28歳～31歳 | 32歳～35歳 | 36歳～39歳 | 40歳～43歳 | 44歳～47歳 | 48歳～51歳 | 52歳～55歳 | 56歳～59歳 | 60歳以上 | 計 |
|-----|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|--------|
| 職員数 | 2人 | 41人 | 96人 | 152人 | 157人 | 132人 | 140人 | 140人 | 129人 | 186人 | 189人 | 3人 | 1,367人 |

(3) 定員管理の数値目標及び進捗状況

①平成17年4月1日～平成22年4月1日における定員管理の数値目標

| | 平成17年4月1日 職員数 | 平成22年4月1日 職員数 | 純減数 | 純減率 | |
|----|------------------|------------------|---------|----------|---------|
| 総数 | 人 1,383 | 人 1,314 | 人 69 | % 5.0 | |
| 内訳 | 一般行政 | 535 | 487 | 48 | 9.0 |
| | 教育 | 150 | 122 | 28 | 18.7 |
| | 消防 | 123 | 131 | (増) 8 | (増) 6.5 |
| | 公営企業等 会計部門 | 575 | 574 | 1 | 0.2 |

(参考) 定員適正化計画における定員管理の数値目標(数)

| 計画期間 | | 数値目標 |
|-----------|------------|---------|
| 始期 | 終期 | |
| 平成18年4月1日 | 平成22年3月31日 | 114人の純減 |

(注) 医療職及び消防職員を除く

②定員管理の数値目標の年次別進捗状況(実績)の概要

(各年4月1日現在)

| 区分 | | 17年 計画始期 | 18年 1年目 | 19年 2年目 | 18年～19年 計 | (参考) 数値目標 |
|-------------|-----|-------------|------------|------------|--------------|--------------|
| 一般行政 | 職員数 | 535 | 526 | 511 | — | 487 |
| | 増減 | | △9 | △15 | △24 (50.0%) | △48 |
| 教育 | 職員数 | 150 | 143 | 136 | — | 122 |
| | 増減 | | △7 | △7 | △14 (50.0%) | △28 |
| 消防 | 職員数 | 123 | 126 | 129 | — | 131 |
| | 増減 | | 3 | 3 | 6 (75.0%) | 8 |
| 公営企業 等会計 | 職員数 | 575 | 590 | 591 | — | 574 |
| | 増減 | | 15 | 1 | 16 (△1,600%) | △1 |
| 計 | 職員数 | 1,383 | 1,385 | 1,367 | — | 1,314 |
| | 増減 | | 2 | △18 | △16 (23.2%) | △69 |

- (注) 1 計画期間は、17年～22年の5年間である。
 2 (%)内の数値は、数値目標に対する進捗率を示す。
 3 増減は、各年の欄にあっては対前年比の職員増減数を、計の欄にあっては計画1年目以降現年までの職員増減数の累計を示す。

7 公営企業職員の状況

(1) 水道事業

① 職員給与費の状況

ア 決算

| 区 分 | 総費用 A | 純損益又は実 質収支 | 職員給与費 B | 総費用に占める 職員給与費比率 B/A | (参考) 17年度の総費用に占 める職員給与費比率 |
|------|-----------------|---------------|---------------|---------------------------|---------------------------------|
| 18年度 | 千円 1,349,477 | 千円 59,794 | 千円 240,682 | % 17.8 | % 18.5 |

| 区 分 | 職員数 A | 給 与 費 | | | | 一人当たり 給与費 B/A |
|------|----------|---------------|--------------|--------------|---------------|------------------|
| | | 給 料 | 職員手当 | 期末・勤勉手当 | 計 B | |
| 18年度 | 人 38 | 千円 151,646 | 千円 27,116 | 千円 61,920 | 千円 240,682 | 千円 6,334 |

| (参考)類似団体平均 一人当たり給与費 |
|------------------------|
| 千円 6,895 |

- (注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。
2 職員数は、19年3月31日現在の人数である。

イ 特記事項 平成17年6月20日 北秋田郡比内町、北秋田郡田代町と合併

② 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況（19年4月1日現在）

| 区 分 | 平均年齢 | 基本給 | 平均月収額 |
|---------|--------|-----------|-----------|
| 大 館 市 | 42.4 歳 | 348,700 円 | 544,493 円 |
| 団 体 平 均 | 45.3 歳 | 375,666 円 | 572,943 円 |

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。

③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

| 大館市 | | 大館市（一般行政職） | |
|---|--|---|--|
| 1人当たり平均支給額(18年度) 1,606 千円 | | 1人当たり平均支給額(18年度) 1,639 千円 | |
| (18年度支給割合) 期末手当 3.0 月分 (-)月分 | | (18年度支給割合) 期末手当 3.0 月分 (-)月分 | |
| 勤勉手当 1.45 月分 (-)月分 | | 勤勉手当 1.45 月分 (-)月分 | |
| (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~20% | | (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~20% | |

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当（19年4月1日現在）

| 大館市 | | | 大館市（一般行政職） | | |
|------------|---------------------------|----------|------------|---------------------------|----------|
| (支給率) | 自己都合 | 勸奨・定年 | (支給率) | 自己都合 | 勸奨・定年 |
| 勤続20年 | 23.50 月分 | 30.55 月分 | 勤続20年 | 23.50 月分 | 30.55 月分 |
| 勤続25年 | 33.50 月分 | 41.34 月分 | 勤続25年 | 33.50 月分 | 41.34 月分 |
| 勤続35年 | 47.50 月分 | 59.28 月分 | 勤続35年 | 47.50 月分 | 59.28 月分 |
| 最高限度額 | 59.28 月分 | 59.28 月分 | 最高限度額 | 59.28 月分 | 59.28 月分 |
| その他の加算措置 | 定年前早期退職特例措置 (2%~20%加算) | | その他の加算措置 | 定年前早期退職特例措置 (2%~20%加算) | |
| 1人当たり平均支給額 | - 千円 | | 1人当たり平均支給額 | 24,443 千円 | |

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、18年度に退職した職員に支給された平均額である。

ウ 地域手当

規定なし

エ 特殊勤務手当（19年4月1日現在）

| 支給実績(18年度決算) | 2,114 千円 | | |
|-------------------------|-----------------|--|--|
| 支給職員1人当たり平均支給年額(18年度決算) | 54,909 円 | | |
| 職員全体に占める手当支給職員の割合(18年度) | 100.0 % | | |
| 手当の種類(手当数) | 6 | | |
| 手当の名称 | 主な支給対象職員 | 主な支給対象業務 | 左記職員に対する支給単価 |
| 現場作業手当 | 管理課、水道課、下水道課の職員 | (1) 交通の遮断されていない通行量の比較的多い道路上における測量の作業、道路補修の作業又は山林地内での調査及び測量の作業に従事したとき (2) 用地交渉の作業に従事したとき (3) 本管又は分岐管に分水栓を取り付けるためせん孔作業に従事したとき (4) スノージャム又は漂流物の除去作業に従事したとき (5) 冬期間において止水栓の開栓及び閉栓作業に従事したとき (6) 下水道管内等の閉所作業に従事したとき | (1) 1日につき200円 (2) 1日につき450円 (3) 1回につき500円(冬期間(12月1日から翌年3月31日までの間をいう。以下同じ。)は600円) (4) 1日につき500円(冬期間は1,000円)。ただし、3時間未満の勤務にあつては、300円(冬期間は600円) (5) 1日につき1,200円 (6) 1日につき300円 |
| 夜間業務手当 | 水道課職員 | 夜間勤務を命じられ夜間業務(20時以降の業務をいう。)に従事したとき | 1人1回につき2,500円(冬期間は3,000円)。ただし、3時間以上5時間未満の勤務にあつては2,000円(冬期間は2,500円) |
| 停水処分手当 | 管理課職員 | 給水停止処分(これに準ずるものと管理者が認定した場合を含む。)に従事したとき | 1戸又は1世帯につき600円 |
| 緊急対応手当 | 水道課、下水道課の職員 | 勤務時間外に発生した配水管、消火栓又は中継ポンプ等の故障の場合において、当該故障について管理者が認定する状態の故障の修理作業に従事したとき | 1人1回につき4,000円 |
| 薬物取扱手当 | 水道課職員 | 硫酸、苛性ソーダ及び次亜塩素酸ナトリウムの注入又は濃度調整作業等に従事したとき | 1人1回につき600円 |
| 資格手当 | 水道課職員 | (1) 電気事業法第43条の規定による主任技術者に選任された職員 (2) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第21条の規定による技術管理者に選任された職員 (3) 水道法第19条による水道技術管理者に選任された職員 | 1月につき1,000円 |

オ 時間外勤務手当

| | |
|-----------------------|-----------|
| 支給実績(18年度決算) | 10,720 千円 |
| 職員1人当たり平均支給年額(18年度決算) | 320 千円 |
| 支給実績(17年度決算) | 14,210 千円 |
| 職員1人当たり平均支給年額(17年度決算) | 412 千円 |

(注) 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。

カ その他の手当（19年4月1日現在）

| 手当名 | | 内容及び支給単価 | | 一般行政職の制度との異同 | 一般行政職の制度と異なる内容 | 支給実績 (18年度決算) | 支給職員1人当たり 平均支給年額 (18年度決算) |
|-------------------------|--|-------------------|---------|--------------|----------------|------------------|---------------------------------|
| 扶養手当 | 配偶者 | | 13,000円 | 同じ | - | 4,713 千円 | 209,444 円 |
| | 配偶者 目 | 1 扶養親族である配偶者がいる場合 | 6,000円 | | | | |
| | | 扶養親族でない配偶者がいる場合 | 6,500円 | | | | |
| | | 配偶者がいない場合 | 11,000円 | | | | |
| | 以外 | 2人目以降 | 6,000円 | | | | |
| 満16歳以上22歳までの子1人についての加算額 | | 5,000円 | | | | | |
| 住居手当 | 借家(借間)の場合の支給限度額 | | 27,000円 | 同じ | - | 963 千円 | 120,375 円 |
| | 持家(購入又は新築後5年間) | | 2,500円 | | | | |
| 通勤手当 | バス、電車などの交通機関利用の場合の限度額 | | 55,000円 | 同じ | - | 1,992 千円 | 63,238 円 |
| | 自家用車などの交通用具利用2,200～24,500円 | | | | | | |
| 単身赴任手当 | 基本額23,000円。距離に応じ6,000～45,000円加算 | | | 同じ | - | 0 千円 | 0 円 |
| 夜間勤務手当 | 正規の勤務時間として午後10時から翌日の午前5時までの間に勤務する職員にその勤務1時間につき1時間当たりの給与額の25/100を支給 | | | 同じ | - | 659 千円 | 131,819 円 |
| 管理職手当 | 管理又は監督の地位にある職員に36,100～123,500円を支給 ※平成20年3月まで5%を減じた額を支給 | | | 同じ | - | 3,206 千円 | 641,141 円 |
| 管理職員特別勤務手当 | 管理又は監督の地位にある職員が臨時又は緊急の必要等により週休日、休日、年末年始の休日等に勤務した場合に6,000～15,000円の金額を支給 | | | 同じ | - | 0 千円 | 0 円 |
| 宿日直手当 | 宿日直勤務又は日直勤務を命ぜられた職員に対してその勤務1回につき4,200円を支給 (勤務時間が5時間未満の場合は、2,100円) | | | 同じ | - | 0 千円 | 0 円 |
| 寒冷地手当 | 11月から翌年3月までに在職する職員に対し、月額7,360～17,800円を支給※経過措置あり | | | 同じ | - | 2,749 千円 | 71,407 円 |

④定員管理の数値目標及び進捗状況

ア 平成17年4月1日～平成22年4月1日における定員管理の数値目標

→6(3)①を参照

イ 定員管理の数値目標の年次別進捗状況(実績)の概要

→6(3)②を参照

(2) 工業用水道事業

① 職員給与費の状況

ア 決算

| 区分 | 総費用 A | 純損益又は実 質収支 | 職員給与費 B | 総費用に占める 職員給与費比率 B/A | (参考) 17年度の総費用に占 める職員給与費比率 |
|------|--------------|---------------|-------------|---------------------------|---------------------------------|
| 18年度 | 千円 40,333 | 千円 3,030 | 千円 3,393 | % 8.4 | % 7.3 |

| 区分 | 職員数 A | 給 与 費 | | | | 一人当たり 給与費 B/A |
|------|----------|-------|------|---------|-------|---------------------|
| | | 給 料 | 職員手当 | 期末・勤勉手当 | 計 B | |
| 18年度 | 人 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| | 1 | 2,286 | 116 | 991 | 3,393 | 3,393 |

| (参考)類似団体平均 一人当たり給与費 |
|------------------------|
| 千円 6,772 |

- (注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。
2 職員数は、19年3月31日現在の人数である。

イ 特記事項 平成17年6月20日 北秋田郡比内町、北秋田郡田代町と合併

② 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況（19年4月1日現在）

| 区分 | 平均年齢 | 基本給 | 平均月収額 |
|------|--------|-----------|-----------|
| 大館市 | 44.8 歳 | 387,667 円 | 576,500 円 |
| 団体平均 | 45.1 歳 | 372,599 円 | 569,636 円 |

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。

③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

| 大館市 | | 大館市（一般行政職） | |
|---------------------|---------|---------------------|---------|
| 1人当たり平均支給額(18年度) | | 1人当たり平均支給額(18年度) | |
| 1,889 千円 | | 1,639 千円 | |
| (18年度支給割合) | | (18年度支給割合) | |
| 期末手当 | 勤勉手当 | 期末手当 | 勤勉手当 |
| 3.0 月分 | 1.45 月分 | 3.0 月分 | 1.45 月分 |
| (-)月分 | (-)月分 | (-)月分 | (-)月分 |
| (加算措置の状況) | | (加算措置の状況) | |
| 職制上の段階、職務の級等による加算措置 | | 職制上の段階、職務の級等による加算措置 | |
| ・役職加算 5~20% | | ・役職加算 5~20% | |

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当（19年4月1日現在）

| 大館市 | | | 大館市（一般行政職） | | |
|------------|---------------------------|----------|------------|---------------------------|----------|
| (支給率) | 自己都合 | 勸奨・定年 | (支給率) | 自己都合 | 勸奨・定年 |
| 勤続20年 | 23.50 月分 | 30.55 月分 | 勤続20年 | 23.50 月分 | 30.55 月分 |
| 勤続25年 | 33.50 月分 | 41.34 月分 | 勤続25年 | 33.50 月分 | 41.34 月分 |
| 勤続35年 | 47.50 月分 | 59.28 月分 | 勤続35年 | 47.50 月分 | 59.28 月分 |
| 最高限度額 | 59.28 月分 | 59.28 月分 | 最高限度額 | 59.28 月分 | 59.28 月分 |
| その他の加算措置 | 定年前早期退職特例措置 (2%~20%加算) | | その他の加算措置 | 定年前早期退職特例措置 (2%~20%加算) | |
| 1人当たり平均支給額 | - 千円 | | 1人当たり平均支給額 | 24,443 千円 | |

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、18年度に退職した職員に支給された平均額である。

ウ 地域手当

規定なし

エ 特殊勤務手当（19年4月1日現在）

| | | | |
|-------------------------|----------|----------|--------------|
| 支給実績(18年度決算) | 0 千円 | | |
| 支給職員1人当たり平均支給年額(18年度決算) | 0 円 | | |
| 職員全体に占める手当支給職員の割合(18年度) | 0.0 % | | |
| 手当の種類(手当数) | 6 | | |
| 手当の名称 | 主な支給対象職員 | 主な支給対象業務 | 左記職員に対する支給単価 |
| 7(1)③エ と同じ | | | |

オ 時間外勤務手当

| | |
|-----------------------|------|
| 支給実績（18年度決算） | 0 千円 |
| 職員1人当たり平均支給年額（18年度決算） | 0 千円 |
| 支給実績（17年度決算） | 0 千円 |
| 職員1人当たり平均支給年額（17年度決算） | 0 千円 |

（注）時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。

カ その他の手当（19年4月1日現在）

| 手当名 | 内容及び支給単価 | 一般行政職 の制度との 異同 | 一般行政職 の制度と異 なる内容 | 支給実績 (18年度決算) | 支給職員1人当たり 平均支給年額 (18年度決算) |
|-----------|------------|----------------------|------------------------|------------------|---------------------------------|
| 扶養手当 | 7(1)③カ と同じ | 同じ | — | 39 千円 | 39,000 円 |
| 住居手当 | | 同じ | — | 0 千円 | 120,375 円 |
| 通勤手当 | | 同じ | — | 40 千円 | 40,200 円 |
| 単身赴任手当 | | 同じ | — | 0 千円 | 0 円 |
| 夜間勤務手当 | | 同じ | — | 0 千円 | 0 円 |
| 管理職手当 | | 同じ | — | 0 千円 | 0 円 |
| 管理職特別勤務手当 | | 同じ | — | 0 千円 | 0 円 |
| 宿日直手当 | | 同じ | — | 0 千円 | 0 円 |
| 寒冷地手当 | | 同じ | — | 37 千円 | 71,407 円 |

④定員管理の数値目標及び進捗状況

→6(3)①を参照

イ 定員管理の数値目標の年次別進捗状況（実績）の概要

→6(3)②を参照

(3) 下水道事業

① 職員給与費の状況

ア 決算

| 区 分 | 総費用 A | 純損益又は実 質収支 | 職員給与費 B | 総費用に占める 職員給与費比率 B/A | (参考) 17年度の総費用に占 める職員給与費比率 |
|------|-----------------|----------------|--------------|---------------------------|---------------------------------|
| 18年度 | 千円 1,289,249 | 千円 -200,633 | 千円 90,557 | % 7.0 | % 7.7 |

| 区 分 | 職員数 A | 給 与 費 | | | | 一人当たり 給与費 B/A |
|------|----------|--------------|--------------|--------------|--------------|------------------|
| | | 給 料 | 職員手当 | 期末・勤勉手当 | 計 B | |
| 18年度 | 人 15 | 千円 56,932 | 千円 10,145 | 千円 23,480 | 千円 90,557 | 千円 6,037 |

| (参考)類似団体平均 一人当たり給与費 |
|------------------------|
| 千円 6,866 |

- (注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。
2 職員数は、19年3月31日現在の人数である。

イ 特記事項 平成17年6月20日 北秋田郡比内町、北秋田郡田代町と合併

② 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況（19年4月1日現在）

| 区 分 | 平均年齢 | 基本給 | 平均月収額 |
|---------|--------|-----------|-----------|
| 大 館 市 | 40.4 歳 | 335,311 円 | 522,789 円 |
| 団 体 平 均 | 44.4 歳 | 373,334 円 | 571,401 円 |

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。

③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

| 大館市 | | 大館市（一般行政職） | |
|---|--|---|--|
| 1人当たり平均支給額(18年度) 1,565 千円 | | 1人当たり平均支給額(18年度) 1,639 千円 | |
| (18年度支給割合) 期末手当 3.0 月分 (-)月分 | | (18年度支給割合) 期末手当 3.0 月分 (-)月分 | |
| 勤勉手当 1.45 月分 (-)月分 | | 勤勉手当 1.45 月分 (-)月分 | |
| (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~20% | | (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~20% | |

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当（19年4月1日現在）

| 大館市 | | | 大館市（一般行政職） | | |
|------------|---------------------------|----------|------------|---------------------------|----------|
| (支給率) | 自己都合 | 勸奨・定年 | (支給率) | 自己都合 | 勸奨・定年 |
| 勤続20年 | 23.50 月分 | 30.55 月分 | 勤続20年 | 23.50 月分 | 30.55 月分 |
| 勤続25年 | 33.50 月分 | 41.34 月分 | 勤続25年 | 33.50 月分 | 41.34 月分 |
| 勤続35年 | 47.50 月分 | 59.28 月分 | 勤続35年 | 47.50 月分 | 59.28 月分 |
| 最高限度額 | 59.28 月分 | 59.28 月分 | 最高限度額 | 59.28 月分 | 59.28 月分 |
| その他の加算措置 | 定年前早期退職特例措置 (2%~20%加算) | | その他の加算措置 | 定年前早期退職特例措置 (2%~20%加算) | |
| 1人当たり平均支給額 | - 千円 | | 1人当たり平均支給額 | 24,443 千円 | |

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、18年度に退職した職員に支給された平均額である。

ウ 地域手当

規定なし

エ 特殊勤務手当（19年4月1日現在）

| | | | |
|-------------------------|----------|----------|--------------|
| 支給実績(18年度決算) | 130 千円 | | |
| 支給職員1人当たり平均支給年額(18年度決算) | 8,653 円 | | |
| 職員全体に占める手当支給職員の割合(18年度) | 100.0 % | | |
| 手当の種類(手当数) | 6 | | |
| 手当の名称 | 主な支給対象職員 | 主な支給対象業務 | 左記職員に対する支給単価 |
| 7(1)③エ と同じ | | | |

オ 時間外勤務手当

| | |
|-----------------------|----------|
| 支給実績（18年度決算） | 3,138 千円 |
| 職員1人当たり平均支給年額（18年度決算） | 261 千円 |
| 支給実績（17年度決算） | 6,491 千円 |
| 職員1人当たり平均支給年額（17年度決算） | 541 千円 |

（注）時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。

カ その他の手当（19年4月1日現在）

| 手当名 | 内容及び支給単価 | 一般行政職の制度との異同 | 一般行政職の制度と異なる内容 | 支給実績(18年度決算) | 支給職員1人当たり平均支給年額(18年度決算) |
|-----------|------------|--------------|----------------|--------------|-------------------------|
| 扶養手当 | 7(1)③カ と同じ | 同じ | — | 2,638 千円 | 219,792 円 |
| 住居手当 | | 同じ | — | 372 千円 | 185,750 円 |
| 通勤手当 | | 同じ | — | 1,012 千円 | 72,257 円 |
| 単身赴任手当 | | 同じ | — | 0 千円 | 0 円 |
| 夜間勤務手当 | | 同じ | — | 0 千円 | 0 円 |
| 管理職手当 | | 同じ | — | 1,563 千円 | 521,124 円 |
| 管理職特別勤務手当 | | 同じ | — | 0 千円 | 0 円 |
| 宿日直手当 | | 同じ | — | 0 千円 | 0 円 |
| 寒冷地手当 | | 同じ | — | 1,292 千円 | 86,107 円 |

④定員管理の数値目標及び進捗状況

ア 平成17年4月1日～平成22年4月1日における定員管理の数値目標

→6(3)①を参照

イ 定員管理の数値目標の年次別進捗状況（実績）の概要

→6(3)②を参照